

# 海上の森の自然ノート

海上の森の動植物の  
生き字引

山本 征弘

## 夏の草花

### No. 1 3

梅雨が終わると本格的な夏が始まります。木の花は少なくなりますが、草花は道沿い、林縁、湿地などそれぞれ個性豊かな花が咲き、楽しむことができます。暑さに負けず、森を歩いてみましょう。



1 : ヤブカンゾウ



2 : コバノカモメヅル



3 : ミズタマソウ

- ① **ヤブカンゾウ (ワスレグサ科)** 里の道端などに多い多年草。八重咲きのヤブカンゾウは実ができません。一重咲はノカンゾウでどちらも春の若芽は酢味噌和えなどにすると美味しく頂けます。
- ② **コバノカモメヅル (キョウチクトウ科)** 赤池へ行く道などに生えるつる性の多年草。よく似たコカモメヅルに比べ花が一回り大きいです。実は袋状になり、冬になると横に割れ白い綿毛の種が飛び散ります。
- ③ **ミズタマソウ (アカバナ科)** 赤池へ行く道などの林内に咲く高さ 20cm~60cm の多年草。果実は鍵状の毛が密生します。花は次々に咲き実になります、露が付き水玉のように光る姿はとても優雅です。



4 : ゲンノショウコ



5 : サギソウ



6 : センニンソウ

- ④ **ゲンノショウコ (フウロソウ科)** 四ッ沢付近の道端などに生える高さ 30~60cm の多年草。下痢止めの薬草として有名です。白い花は関東に多く、関西はピンクが多い。海上の森には両方あります。
- ⑤ **サギソウ (ラン科)** 屋戸湿地など日当たりの良い湿地で 8 月頃咲く多年草。地下に球茎があり、細い地下匍枝を出し増えます。白鷺が飛んだような花は実に優雅です。近年数が減っています。
- ⑥ **センニンソウ (キンポウゲ科)** 四ッ沢へ行く道など日当たりの良い場所に咲くつる性の半低木。花が終わると花柱が伸び白くて長い毛が密生し仙人のヒゲのようになります。よく似たボタンズルも少しあります。